

懇会
政例
宮崎
県央

水道運営 官民連携を

吉村さん(アトバイザー)訴え

宮崎政経懇話会(宮崎日新聞社、宮日文化情報センター主催)の第390回県央地区例会は19日、宮崎市の宮崎観光ホテルであった。グローバルウォータ・ジャパン代表で、国連テクニカルアドバイザーの吉村和就さん(70)が「世界と日本」の水環境問題と水道法の改正、どうなる日本の水道は」と題して講演した。(6面に出席者名簿)

吉村さんは、地球上の水のうち安全ですぐに飲める水は0.01%しかなく、「2030年には世界の水需要に対して40%不足すると国連は警告している」と指摘。日本は四方を海に囲



世界と日本の水環境問題について講演した吉村和就さん=19日午後、宮崎市・宮崎観光ホテル

まれ、水資源に恵まれているものの、「温暖化により水不足や水質汚濁などが深刻化する」と見通した。

国内の水道事業の課題については、人口減少に伴う水道料金の収入減や配管の老朽化などを挙げ、「人、物、金がない三重苦」と強調。水道事業を民間に委託しやすくする昨年12月の水道法改正に触れ、「現在は原則市町村が個々で運営しているが、今後は自治体間の広域連携や官民連携が求められる」と訴えた。

- ◆動……………4面
- ◆下水道賞「授賞式」……………5面
- ◆周年記念特集……………6、7面
- ◆「地球とエコ」の入口にミヤマさんに聞く……………8面

台風15号の災害廃棄物 広域処理へ調整推進

小泉環境相が方針

小泉進次郎環境相は16日、台風15号に伴う災害廃棄物の仮置き場がある千葉県南房総市役所を訪れ、面会した石井裕市長に収集車の増加や災害廃棄物の受け入れを表明している他の自治体と広域処理の調整を進める方針を説明した。先週13日の閣議後記者会見で、小

泉環境相は「現在、千葉県内の7市町で停電に伴うごみ処理施設の稼働停止などにより、生活ごみの受け入れを停止している。このため、速やかに千葉県内をはじめ近隣の自治体にごみの収集車両や応援職員の派遣を求め」と発言。また、千葉県と協力して廃棄物の広域処理先を調整した結果、千葉県、船橋市、柏市が応援職員の派遣を、船橋市および市原市が広域処理の受け入れに協力を表明したことを明らかにしていた。

なお、同省によると、16日現在、千葉県の以下の19カ所の廃棄物処理施設が停電から復旧し、稼働を再開している。

- ▽伊地山クリーンセンター(香取広域市町村圏事務組合)▽牧野し尿処理場(同)▽光クリーンパーク(東総衛生組合)
- ▽山武郡市環境衛生組合
- ▽ごみ焼却施設(山武郡市環境衛生組合)▽鴨川市清掃センター(鴨川市)
- ▽館山市清掃センター(館山市)▽大谷クリーンセンター(鋸南地区環境衛生組合)▽東金市外三市町清掃組合環境ク

リーンセンター(東金市外三市町清掃組合)▽松山清掃工場(匝瑳市ほか2町環境衛生組合)▽山武郡市広域行政組合環境アクアプラント(山武郡市広域行政組合)▽富里市クリーンセンター(富里市)▽八街市クリーンセンター(八街市)▽富津市クリーンセンター(富津市)▽鴨川市衛生センター(鴨川市)▽四街道市クリーンセンター(四街道市)▽印旛衛生施設管理組合汚泥再生処理センター(印旛衛生施設管理組合)▽袖ヶ浦クリーンセンター(袖ヶ浦市)▽堤ヶ谷クリーンセンター(鋸南地区環境衛生組合)▽君津市衛生センター(君津市)

第4次安倍再改造内閣が発足した11日夜遅く、首相官邸での記者会見を終えた小泉進次郎環境相が初登壇した。就任会見の会場には100人近い報道陣が参集、歴代の環境相就任会見とは異なる熱気に包まれた。将来の首相候補と目される小泉

